

第3学年 単元名 こん虫を調べよう

1 本時の実践について

(1) 本時の目標

昆虫の体のつくりについて、観察を行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。(思考力・判断力・表現力)

(2) ICT活用場面について

【使用するアプリ】

「カメラ機能」「google jamboard」

【問題】 バッタやトンボの成虫のからだのつくりは、どのようになっているだろうか。

観察

①パソコンのカメラ機能を使い、バッタやトンボなどの成虫を写真に撮る。



バッタやトンボの成虫をつかまえて、パソコンのカメラで写真を撮りましょう。



バッタの成虫をつかまえた！！
でも、動くバッタを撮るのは難しい。



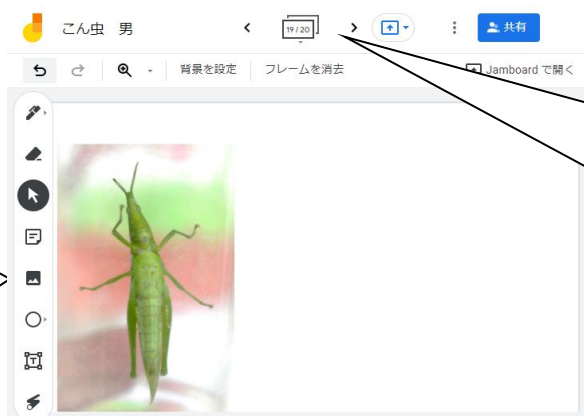
バッタを容器に入れて、カメラで写真を撮ってみましょう。



②「google jamboard」に、撮影した成虫の写真を貼り付ける。



このアイコンを押すと写真を挿入できるよ。



出席番号と同じ番号のフレームに写真を貼り付けよう。

③観察して気づいたことを「google jamboard」に記録する。

考察

③他の児童が記入したフレームを見て、自分の考えと比較する。



バッタの成虫は、頭、むね、はらに分かれているよ。

あしが6本ある。
むねに、あしがついているよ。

頭、むね、はらに分かれているね。
あしも6本あるね。



トンボのからだのつくりはどうだろう？

④バッタの成虫とトンボの成虫を比較し、考察する。



トンボの成虫も、頭、むね、はらに分かれているよ。

あしもバッタと同じように6本あるね。

形や大きさは違う。

【考察】トンボやバッタなどの成虫のからだは、頭、むね、はらからできていて、むねにあしが6本ある。

2 成果と課題

考察の場面で「Jamboard」に記入させると、リアルタイムに他の児童の考えも見ることができるので、自分の考えと比較しながら記入したり、気づいたことを追記したりする様子が見られた。学級全体で話し合う場面でも、「Jamboard」の画面をモニターに映しながら話し合うことができ、視覚的にわかりやすかった。しかし、パソコンのカメラ機能は動体の撮影には不向きで、上手く撮れない児童も多かった。標本や教師側で撮影した写真を活用していくことも検討していきたい。(所沢市立柳瀬小学校 市川 亮)